

令和 4年度

事務事業評価表 (令和 3年度 の実績評価)

記入年月日
令和 4 年 4 月 21 日

事務事業名		男女共同参画推進事業			事業区分		担当	
		政策体系上の位置付け			新規/継続	継続	事務事業No.	060202000274
		総合計画の施策名			単独/補助	単独	所属課	030301
		0602 人権尊重のまちづくり					課長名	生活環境課
		政策名					グループ	市民活動・交通安全G
		06 みんなで築く自治のまちづくり					担当者名	
		施策名						
		02 人権尊重のまちづくり						
		手段名						
		02 ②男女共同参画の推進						
財務会計上の位置付け					事業期間			
予算科目	会計	款	項	目	事業	細	一般会計	
	01	02	01	13	01	00	単年度繰返し (平成17年度~)	
法令根拠					男女共同参画事業			
男女共同参画社会基本法					期間限定の場合、総投入量を(3)投入量の右側に記入			

【Do】 1. 事務事業の現状把握 (その1)

(1) 事務事業の概要	
①事務事業の概要 (事務事業の全体像)	②担当者が行う業務の内容・やり方・手順
男女共同参画社会 (男女が社会の対等な構成員として互いにその人権を尊重し、責任を分かち合い、個性と能力を發揮できる社会) を実現するため、意識啓発や女性リーダーの育成を図る。	<ul style="list-style-type: none"> 啓発チラシ等の作成、配布 各種研修会への参加 女性リーダー育成の場の提供 講演会、セミナー等の企画立案

(2) 事務事業の手段・対象・意図と各指標、指標値の推移

①手段 (担当者の活動内容)	④活動指標 (活動量を表す指標)	単位	02年度	03年度	04年度	05年度	06年度
			(実績)	(実績)	(計画)	(目標)	(目標)
<ul style="list-style-type: none"> 講演会、セミナー等の企画立案 啓発チラシ等の作成、配布 女性リーダー育成の場の提供 各種研修会への参加 	講演会、セミナーの回数	回	1.00	0.00	1.00	1.00	1.00
	啓発チラシの配布回数	回	300.00	300.00	300.00	300.00	300.00
			0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
			0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
②対象 (誰、何を対象にしているのか)	⑤対象指標 (対象の大きさを表す指標)	単位	02年度	03年度	04年度	05年度	06年度
市民	人口	人	39,122.00	39,422.00	37,852.00	37,282.00	36,712.00
			0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
			0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
③意図 (この事業によって対象をどう変えるのか)	⑥成果指標 (対象における意図の達成度を表す指標)	単位	02年度	03年度	04年度	05年度	06年度
男女平等意識の醸成	男女が平等と思う市民の割合	%	21.40	20.60	23.00	23.00	23.00
			0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
			0.00	0.00	0.00	0.00	0.00

(3) 投入量 (事業費) の推移

投入量	事業費内訳	02年度 (実績)	03年度 (実績)	04年度 (計画)	05年度 (目標)	06年度 (目標)	期間限定総投入量
事業費	国庫支出金	0	0	0			
	県支出金	0	0	0			
	地方債	0	0	0			
	使用料・手数料	0	0	0			
	その他	0	0	0			
	一般財源	45	82	536			
	事業費計 (A)	45	82	536			
正規職員従事人数	人	4.00人	4.00人	4.00人			

事業費の内訳	03年度事業費 実績 (千円)		04年度事業費 予算 (千円)	
	科目	金額	科目	金額
	10 需用費	30	07 報償費	205
	18 負担金補助及び交付金	52	10 需用費	79
			13 使用料及び賃借料	100
			18 負担金補助及び交付金	152
	合計	82	合計	536

事務事業名	男女共同参画推進事業	事務事業No.	60202000274	所属課	生活環境課
(4) この事務事業を開始したきっかけは、いつ頃どんな経緯で開始されたのか？ 開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか？					
平成11年度に男女共同参画社会基本法が制定されたことに基づき、各自治体とも男女共同参画社会の実現に向け事業を開始した。桜川市においても平成20年3月に男女共同参画推進プランを策定し、意識啓発を基本に事業を進めてきた。近年は、女性の働きやすい環境整備を進める方向性も示されている。 なお、平成31年3月第2次桜川市男女共同参画推進プランを策定した。					
(5) この事務事業に対して関係者（住民、議会、事業対象者、利害関係者）からどんな意見や要望が寄せられているか？					
各種審議会や委員会など政策・方針決定の場への女性登用、役所内の管理職への女性登用を望む声がある。					

【See】 2. 評価の部 *原則は事前評価。

評価項目	
改革改善を行う	①政策体系との整合性 (この事務事業の目的は市の政策体系に結びつくか？意図することが結果に結びついているか？)
	<input checked="" type="checkbox"/> 結びついている 男女共同参画の推進は総合計画の施策目的に沿ったものであり、整合している。
	②公共関与の妥当性 (なぜこの事業を市が行わなければならないのか？税金を投入して、達成する目的か？) (法定受託事業はその名称)
	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当である 男女共同参画の推進は国の目指すべき姿であり、各自治体は市民の意識啓発を担う。
有効性	③成果の向上余地 (成果を向上させる余地はあるか？成果の現状水準とあるべき水準との差異はないか？何が原因で成果向上が期待できないのか？)
	<input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がある 男女の平等意識は徐々に高まりつつあるものの、依然低い状態にあり、共同参画の前提として意識を高めていく必要がある。
	④廃止・休止の成果への影響 (事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は？)
<input checked="" type="checkbox"/> 影響有 廃止・休止した場合、男女共同参画社会の目的達成に影響がある。	
効率性	⑤類似事業との統廃合・連携の可能性 (類似事業や統廃合の可能性はありますか？(市以外の取り組みも含む)) (他に手段がある場合)
	<input checked="" type="checkbox"/> 連携ができる 具体的な手段、事務事業名 災害時の対応など、男女共同参画の推進は多分野に及ぶため、情報共有や事業実施などで関係部局との連携ができる。
公平性	⑥事業費・人件費の削減余地 (成果を下げずに事業費を削減できないか？やり方を工夫して延べ業務事業を削減できないか？)
	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない 最小限の事業費、人件費で事業を実施しており削減の余地はない。
	⑦受益機会・費用負担の適正化余地 (事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか？受益者負担が公平・公正になっているか？)
	<input checked="" type="checkbox"/> 公正・公平である 男女共同参画の推進は市民全体が対象であり公正・公平である。

【Plan】 3. 評価結果の総括と今後の方向性 (次年度計画と予算への反映)

(1) 1次評価者としての評価結果		(2) 全体総括(振り返り、反省点)																						
①目的妥当性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり	②有効性 <input type="checkbox"/> 適切 <input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地あり	男女共同参画川柳の募集を予定したが、新型コロナウイルスのため中止とした。男女共同参画月間では、岩瀬認定こども園、岩瀬東部認定こども園保護者に啓発品を配布した。また、男性を対象とした料理教室も中止とし代替として、認定こども園保護者を対象とし、リーフレットで募集した。																						
③効率性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり	④公平性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり																							
(3) 今後の事業の方向性																								
<input type="checkbox"/> 終了 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input checked="" type="checkbox"/> 改革改善を行う <input type="checkbox"/> 目的の再設定 <input type="checkbox"/> 効率性の改善 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 現状維持 <input checked="" type="checkbox"/> 有効性の改善 <input type="checkbox"/> 公平性の改善 <input type="checkbox"/> 統廃合ができる <input checked="" type="checkbox"/> 連携ができる																								
(5) 改革、改善を実現する上で解決すべき課題(壁)とその解決策		(4) 改革・改善による期待成果 (終了・廃止・休止の場合は記入不要)																						
男女共同参画講演会については、県や他市町村でもオンライン講演会をしたが、参加者が少なかったらしく、各市町村に声掛けがあった。今後の講演会のやり方が課題である。		<table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2" rowspan="2"></th> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <th rowspan="3">成果</th> <th>向上</th> <td></td> <td>○</td> <td></td> </tr> <tr> <th>維持</th> <td></td> <td></td> <td>×</td> </tr> <tr> <th>低下</th> <td></td> <td>×</td> <td>×</td> </tr> </tbody> </table>				コスト			削減	維持	増加	成果	向上		○		維持			×	低下		×	×
		コスト																						
		削減	維持	増加																				
成果	向上		○																					
	維持			×																				
	低下		×	×																				
(6) 事務事業優先度評価結果		成果優先度評価結果 ①																						

【Check】 4. 確認及び改革改善に向けての指摘事項

(1) 課長評価	(2) 部長確認及び評価 (課長評価により、C、D判定及び確認が必要な場合)
課長確認後の評価	確認欄
<input checked="" type="checkbox"/> B A: 継続 (現状維持) C: 終了、廃止、休止 B: 継続 (改革改善を行う) D: 2次評価へ提出	<input type="checkbox"/>